

A-9 家政学の体系について

昭和女子大学 原田 一

家政学の対象は家庭生活であると言われるが、家庭生活という語を単に家族すなわち血縁によって結ばれた人間の集団の生活というふうに解釈せず、食生活、住生活、衣生活および家族生活すなわち基本的な生活活動と解釈して、家政学の範囲を定める。次に家政学を広義の家政学と真の家政学に分つ。栄養学、食品学、被服材料学、住宅建築学、小児生理学等は家政学独特の分野でないが、調理学、被服構成学、室内装飾学、家族関係学等は家政学独特の分野である。後者を真の家政学として、両者を合わせて広義の家政学とする。家庭管理学と家族関係学のみを家政学とするような狭い見解はとらない。家庭管理学と家政学原論とは、これらの上位に置かれる。家政学は科学であるが、哲学と芸術に関連する。